

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		学校保健会助成				所管	教育委員会 学務課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]					[事業開始]	年度
		[施 策]					[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区学校保健会補助金交付要綱			
	事業対象	台東区学校保健会						
	事業目的	台東区学校保健会へ助成することにより、学校保健の研究並びに普及発展を図る。						
	事業内容	当該年度の予算の範囲を限度とし、学校保健行政並びに関係団体への協力、健康教育の実践普及、学校保健の研修、健康づくり努力児童並びに健康優良校の審査、学校保健に関する調査等に係る経費の3分の2以内を台東区学校保健会へ助成する。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	理事会 (回)		4	4	4	4	
		評議員会 (回)		1	1	1	1	
	成果指標	事業数 (数)		125	148	133	121	
	決算額 (単位：千円)				680,000	680,000	680,000	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,536	1,250	1,704	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			680	680	680	
		総経費			2,216	1,930	2,384	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
一般財源 (区負担額)			2,216	1,930	2,384			
前年度から改善した事項		B地区学校保健協議会の事務局としての事業について精査した。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	学校保健会への助成により学校保健を普及発展させることは、児童・生徒・幼児が健康に育つうえで必要不可欠である。					
	効率性	3	学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校園長、保健担当・養護教諭、PTA等その他学校保健の振興に関連するものの活動の場となっている。					
	手段の適切性	3	学校保健会への助成は、学校保健の普及発展へつなげる手段の一つとして有効であり、今後も引き続き事業を継続していく。					
	目的達成度	3	学校保健に関する各部会での活動数は安定している。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
学校保健の普及発展の場としての学校保健会は、必要不可欠であるため今後も学校保健会への助成は継続していく。							維持	